

ノートが好き。

April - May 2021

こんな本



読んでみて

take free No. 88

## 目次

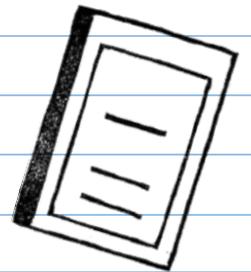
ノートが好き。 1

Book design の世界 vol.18 10

ちょこちょこ日記 #28 12

## ノートが好き。

ノートを書くことや、  
ノートを手にすることが、  
もっと  
楽しくなる、  
うれしくなる、  
そんな本をご紹介します。





## 『時間をもっと大切にするための』

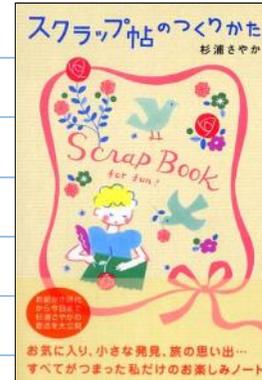
### 『小さいノート活用術』

著 者 / 高橋拓也

出版社 / 玄光社

請求記号 / 002.7 || Ta 33

毎日の生活の中で小さいノートを上手に使う方法を紹介する一冊。一冊の小さいノートにすぐに忘れてしまいそうな些細なことを書き留めることで、やりたいことや好きなことを忘れなくなり、生活を見直すこともできます。また読んだ本の記録や調べたいことをメモすることで勉強にも役立ちます。スマホを持ち歩くように、暮らしの中に小さいノートを取り入れてみませんか？



## 『スクラップ帖のつくりかた』

著 者 / 杉浦さやか

出版社 / KKベストセラーズ

請求記号 / 002.7 || Su 48

イラストレーターの杉浦さやかさんの「イラストの根っこの部分、ノート作りのおはなし」の本です。タグや包み紙を貼ったり、素材をアレンジしたり、かわいくておしゃれでまねしたくなるアイデアがたくさん紹介されています。食べ物、買い物、おでかけなど、ノートを作ると毎日が楽しくなりそうです。今の自分が好きなものを集めた自分だけのスクラップ帖、作ってみてください。



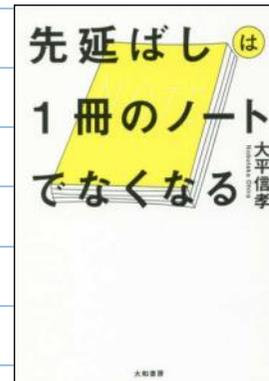
## 『k.m.p.の、イラスト旅ノート。』

著 者 / なかがわみどり, ムラマツエリコ

出版社 / JTBパブリッシング

請求記号 / 290.9 | | N 32

旅の最中だけでなく、旅の準備からまとめまで、旅をもっと長く楽しめる旅ノートの作り方を丁寧に教えてくれる一冊。旅ノートを作るために旅の中で、メモや写真、紙ものの管理など、上手な旅の過ごし方が細かく紹介されています。遠くへ旅することが難しいときでも楽しめる、身近な場所のおさんぽノートも紹介されています。新しい発見ができそうです。



## 『先延ばしは

## 1冊のノートでなくなる』

著 者 / 大平信孝

出版社 / 大和書房

請求記号 / 159 | | O 69

自分が本当にやりたいことを達成するためのノート術を紹介する一冊です。やりたいと思っても、忙しい毎日の中で先延ばしにしてしまいがちですが、この本を読んで「行動イノベーションノート」を実践すると、きっと前向きに行動できるようになれるはずです。



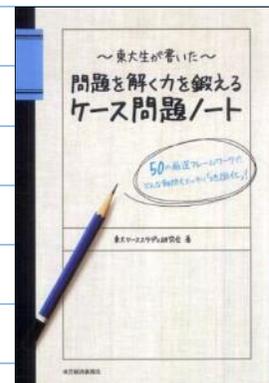
**『東大合格生の  
ノートはかならず美しい』**

著 者 / 太田あや

出版社 / 文藝春秋

請求記号 / 376.9 || O 81

法則①「とにかく文頭は揃える」。東大合格生が高校時代に作った200冊以上のノートをもとに、美しいノートの法則を紹介する一冊。紹介されるノートはどれも見やすく分かりやすく書かれています。様々なノートをのぞくことで、これからの学びに役立つヒントがもらえます。



**『東大生が書いた  
問題を解く力を鍛える  
ケース問題ノート』**

著 者 / 東大ケーススタディ研究会

出版社 / 東洋経済新報社

請求記号 / 141.5 | | To 75

「花粉症患者を減らすには？」「英語を話せるようになるには？」日常生活やビジネス、社会などあらゆる場面で生じる問題を解決する方法、と言うと難しそうですが、じつは多くの問題には共通の手法があると紹介する本書。問題解決の手法を詳しく紹介し、実際に問題を解いてみることで、問題解決の訓練ができます。



## 『この10年でいちばん重要な

## 文房具はこれだ決定会議』

著者 / ブング・ジャム, 古川耕

出版社 / スモール出版

請求記号 / 589.73 || B 89

2017年に行われた文房具愛好家による、10年間で「いちばん重要な文房具」を決定する会議をまとめたこの本には、文房具への熱いまなざしがつまっています。文房具のこれまでを振り返ると、文房具の世界でこんな革新的なことが起きていたのかと驚きます。文房具、奥深いです。



## 『文房具図鑑

## その文具のいい所から悪い所まで 最強解説』

著者 / 山本健太郎

出版社 / いろは出版

請求記号 / 589.73 || Y 31

約1年間かけて文房具のことをまとめ、小学6年生の夏休みの自由研究として提出した図鑑をもとにつくられた本。手書きの実物大イラストや文章から、文房具への愛情が伝わってきます。ノート、メモ、ペン、消しゴムなど、じっくりと観察してみたくなります。そして、大切に使いたいと思いました。

ノートが好き。

# Book design

## の世界

vol.18

小川 恵子 さん

(瀬戸内デザイン)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第18回目は、小川恵子さんのブックデザインをご紹介します。

小川恵子さんは、大学卒業後デザイン事務所などで勤務された後、2014年に「瀬戸内デザイン」という屋号で独立されました。小説や実用書、雑誌など幅広いジャンルでご活躍されています。



一冊目は『むかしむかしあるところに、死体がありました。』(青柳碧人著／双葉社／2019年／913.6||A 57)。「浦島太郎」や「桃太郎」など日本の昔ばなしがミステリー仕立てで書かれた一冊です。



『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』(青柳碧人著／双葉社／2020年／913.6||A 57) も、一冊目と同じ著者・青柳碧人さんの作品。こちらは西洋の童話を元にしたミステリーです。

どちらも装画はイラストレーターの五月女ケイ子さんによるもので、登場人物のハツとした表情に思わず本を手にとってしまいます。よく知っている物語の新しい一面を伝える装丁です。

装丁：小川恵子  
(瀬戸内デザイン)  
装画：五月女ケイ子



装画：山崎若菜  
装幀：小川恵子

(瀬戸内デザイン)

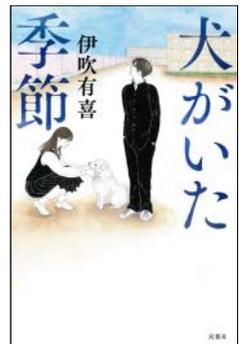
『ずっと喪』(洛田二十日著／キノブックス／2018年／913.6||R 12)は、言葉のテンポや独特のアイデアがくせになる21の短編作品がおさめられています。イラストレーターの子山崎若菜さんのユーモラスな装画には、作品に出てくるモチーフも描かれています。表紙には黄色、見返しには黒が使われていて、不思議な世界観に誘われる装丁です。

## 『この青い空で君をつつもう』

(瀬名秀明著／双葉社／2016年／913.6||Se 57) は、季節の移ろいと共に描かれる青春ラブストーリーです。今井ちひろさんの装画が淡く美しい装丁です。表紙の四方を折りたたむ、仮フランス装という製本方法で仕上げられています。



装画：今井ちひろ  
装丁：瀬戸内デザイン



装画：金子恵  
装幀：小川恵子

(瀬戸内デザイン)

今回最後にご紹介するのは、

『犬がいた季節』(伊吹有喜著／双葉社／2020年／913.6||I 12)です。三重県出身の著者・伊吹有喜さんの母校をモデルにした高校が舞台となる青春小説です。昭和、平成、令和という時代の流れの中でコーシローという犬と高校生の交流を描いた作品を、金子恵さんの装画が温かく包む装丁です。

本の魅力や味わいがにじみ出るような小川恵子さんの装丁。一冊一冊とていねいに向き合っていきたいと感じました。

参考：瀬戸内デザインホームページ <https://www.setouchi-d.com/>



## ちょこちょこ日記 #28 「春の日」

11ページで『この青い空で君をつつもう』という本をご紹介しました。著者の瀬名秀明さんが「ループしないループもの」と、この本のことを紹介されていました。「過去へ戻りたくても戻れないのが、私たちの人生です。しかし人生は戻れないよううでいてループしている。どんなに悲しくても季節は巡り、春にはまた桜の花が咲くでしょう。」と書かれています。

特に春は、季節は巡っていると感じる人が多い季節です。桜が咲くのを楽しみに思う気持ちや、桜を見上げたときのさわやかな気持ちは、何度体感しても心地よいものです。草花も次々に花を咲かせるので、江戸橋駅から三重短へ歩く道や、三重短の中でも毎日新しい発見があってとても楽しいです。

春は出会いと別れの季節でもあります。緊張する場面も多いかもしれませんが、少しでもおだやかな春の日となりますように願っています。

参考・引用：瀬名秀明『この青い空で君をつつもう』と折り紙の世界  
<http://www.senahideaki.com/origami/>

## こんな本読んでみて No.88

2021年4月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>